

第12回JSSXショートコース

テーマ：医薬品開発におけるDDI評価の現状と展望

石川県立音楽堂 邦楽ホール

プログラム

【Session 1】DDIリスク評価のNew Tool

座長：小村 弘(日本医療研究開発機構)、今井 覚己(大日本住友製薬)

SC-1 12:15 ~ 12:40 (発表20分、質疑応答5分)

ヒト肝細胞キメラマウスを用いたCYP DDI victimリスク予測の改善事例

天水 大介(アステラス製薬株式会社 研究本部 薬物動態研究所 ファーマコキネティクス研究室)

SC-2 12:40 ~ 13:05 (発表20分、質疑応答5分)

創薬スクリーニングにおけるin houseトランスポーターノックアウトマウスを用いた基質薬の薬物相互作用リスク評価

木戸 康人(塩野義製薬株式会社 開発研究所 薬物動態研究部門)

【Session 2】DDIの更なる定量的予測を目指して

座長：奥 哲(田辺三菱製薬)、長谷川博司(塩野義製薬)

SC-3 13:05 ~ 13:30 (発表20分、質疑応答5分)

薬物間相互作用の定性的評価および定量的予測を用いた化合物選定のための戦略的アプローチ

小杉 洋平(武田薬品工業株式会社 リサーチ 薬物動態研究所)

SC-4 13:30 ~ 13:55 (発表20分、質疑応答5分)

CYP 3A4誘導予測のボトムアップおよびトップダウンアプローチ 加藤 基浩(中外製薬・研究本部)

【Session 3】DDIの承認申請対応事例

座長：石田 誠一(国立医薬品食品衛生研究所)、尾関 和久(中外製薬)

SC-5 14:05 ~ 14:30 (発表20分、質疑応答5分)

生理学的薬物動態モデルによるDDI予測を用いたレンバチニブの承認申請対応事例

中谷 陽介(エーザイ株式会社 筑波薬物動態研究室)

SC-6 14:30 ~ 14:55 (発表20分、質疑応答5分)

EdaravoneのALS適応FDA申請においてCYP 1A2誘導の臨床DDI試験実施を回避した事例について

岩崎 紀彦(田辺三菱製薬株式会社 創薬本部 薬物動態研究所)

【Session 4】Message in a guideline：国内DDIガイドラインの改定にあたって

座長：樋坂 章博(千葉大学)、奥平 典子(第一三共)

SC- 7 14：55～15：20（発表20分、質疑応答5分）

医薬品開発と適正な情報提供のための薬物相互作用ガイドライン

～新ガイドラインの概要と今後の相互作用評価の展望～

永井 尚美(武蔵大学薬学部)

SC- 8 15：20～15：45（発表20分、質疑応答5分）

薬物相互作用ガイドラインの科学的意味の理解

～これまでの変遷を通じて見えてくるもの～

前田 和哉(東京大学大学院薬学系研究科)

Next MDO meeting in Prague, 2020

23rd MDO meeting in Prague

Time: August 30 to September 3, 2020.

Venue: Faculty of Architecture, Czech Technical University, Prague.

Co-Chairs: Prof. Petr Pavek, Ph.D. (scientific committee), Department of Pharmacology and Toxicology, Faculty of Pharmacy in Hradec Kralove, Charles University
Prof. Jiri Hudecek (organizational committee), Department of Biochemistry, Faculty of Science, Charles University, Prague